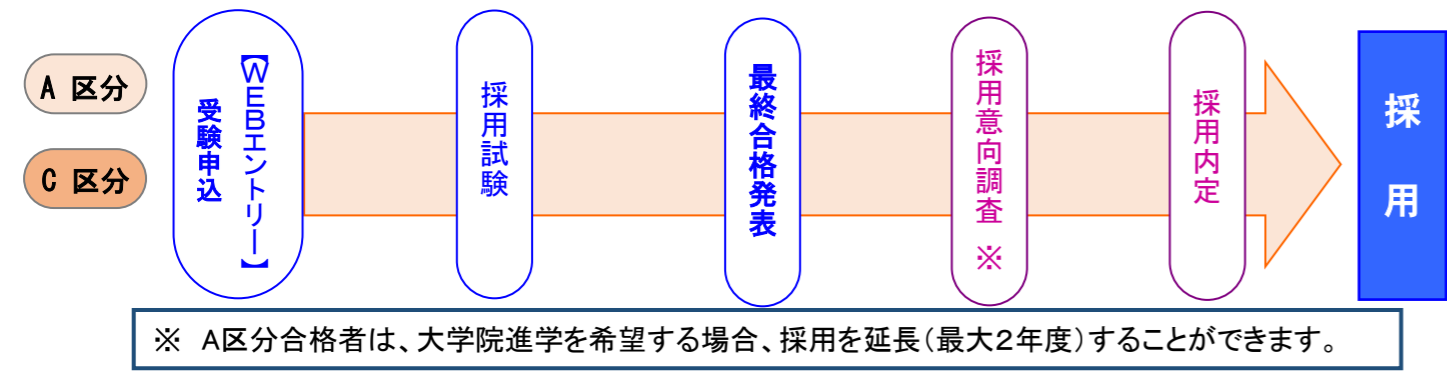


採用試験の概要

試験	A区分 (22~30歳)		試験	C区分 (22~62歳) (民間企業等経験3年以上)	受験資格
	SPI方式	専門試験方式			
申込	◆1回目: 3月2日~3月23日 ◆2回目: 7月17日~8月21日	◆4月20日~5月18日	申込	◆第I期: 3月2日~3月23日 ◆第II期: 4月1日~6月26日 ◆第III期: 7月3日~9月4日	左の表に示した年齢や職務経験のほか、それぞれの試験区分で以下の要件を満たす必要があります。 ※普及職員(水産)A 大学(短期大学を除く)若しくは水産大学校において水産業、生物、化学、食品製造、機械、電気、機関、電気通信、経済若しくは経営に関する正規の課程を修めて卒業した方若しくは2027年3月31日までに卒業見込みの方 ※普及職員(水産)C 大学(短期大学を除く)若しくは水産大学校において水産業、生物、化学、食品製造、機械、電気、機関、電気通信、経済若しくは経営に関する正規の課程を修めて卒業した方若しくは2027年3月31日までに卒業見込みの方又は水産業普及指導員資格を有している方若しくは水産業普及指導員資格試験の受験資格を有している方
第一次	◆試験日(受験期間) : 1回目 4月3日~4月16日 : 2回目 9月4日~9月17日 ◆試験地(受験会場) テストセンター会場 ※リアル会場又はオンライン会場	◆試験日: 6月21日 ◆試験地: 札幌市、東京都	第一次	●試験内容 ○書類選考	
第二次	◆試験内容 ○SPI3-U(基礎能力検査)	●試験内容 ○教養試験[択一式による筆記試験] 社会、人文、自然、文章理解、判断推理、数的推理、資料解釈 ○専門試験[択一式による筆記試験] 水産事情・水産経済・水産法規、水産環境科学、水産生物、水産資源、漁業、増養殖、水産化学、水産利用	第二次	◆第1次合格発表: 第I期 4月下旬 第II期 7月下旬 第III期 10月中旬	
合格発表	◆第1次合格発表: 1回目 4月下旬 2回目 9月下旬	◆第1次合格発表: 7月上旬	第二次	◆試験日: 第I期 5月中旬~6月上旬 第II期 8月下旬~9月上旬 第III期 11月上旬~11月中旬 ◆試験地: 札幌市 ※あらかじめ定められた期間の中から面接日程を選択 ●試験内容 ・専門試験(専門性確認面接) ・人物試験(個別面接) ※どちらの試験も1回の面接試験の中で実施	
合格発表	◆1回目: 6月上旬 ◆2回目: 11月中旬	◆8月上旬	合格発表	◆第I期: 6月中旬 ◆第II期: 9月下旬 ◆第III期: 12月上旬	

※日程等は変更となる場合がありますので、詳細は、人事委員会のHPを事前にご確認下さい。

採用試験までの流れ



給与・勤務条件等

初任給	A区分: 大学新卒 (232,000円) C区分: 民間経験(例: 31歳で職務経験9年の場合 288,200円 ※学歴や経歴を基に決定。)
諸手当	期末手当・勤勉手当、通勤手当、住居手当、扶養手当、寒冷地手当など
年休	1年に20日間(4/1新規採用の年は15日間)、20日を限度に翌年に繰り越すことができます。
住宅	職員住宅、独身寮が整備されています。

水産業普及指導員の資格について

- 大学新卒で採用された場合、水産技術普及指導所で2年以上の実務経験を積むと、国家試験である水産業普及指導員資格試験を受験できます。
- 普及指導員資格を取得すると、普及指導手当(給料月額12%)が支給されます。

お問い合わせ先
◆職員採用試験に関すること
北海道人事委員会事務局任用課
札幌市中央区北3条西7丁目 道庁別館11階
電話:011-204-5654



◆普及職員(水産)の仕事に関すること
北海道水産林務部成長産業課普及指導員
札幌市中央区北3条西6丁目 道庁本館11階
電話:011-206-6081



採用試験のHP 北海道 水産普及 検索 普及職員(水産)のHP

※QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です

水産技術普及指導所のインスタ
アカウント名: Info 北海道水産指導所

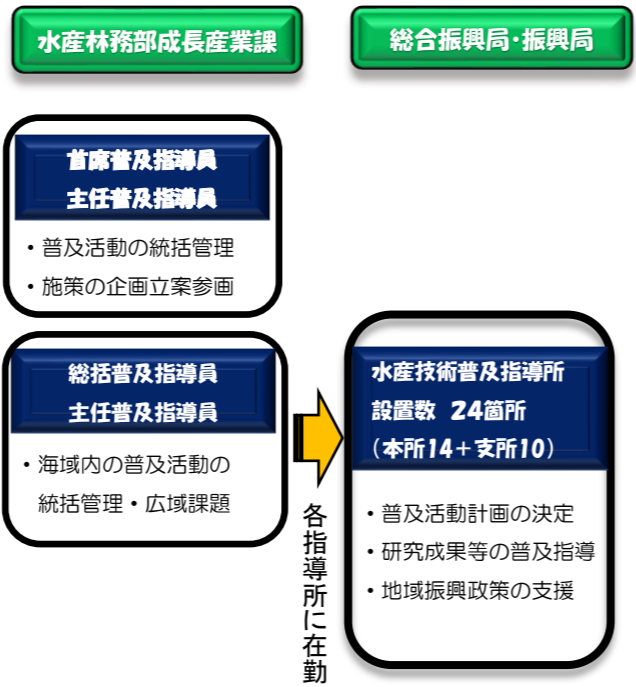
北海道の広大な海を
職場にする!
普及職員(水産)



○普及職員(水産)とは?
北海道の広い海をフィールドとし、沿岸漁業等の生産性の向上、経営の近代化や沿岸漁業の技術改良を図るため、漁業者に対して技術・知識等の普及指導を行っています。

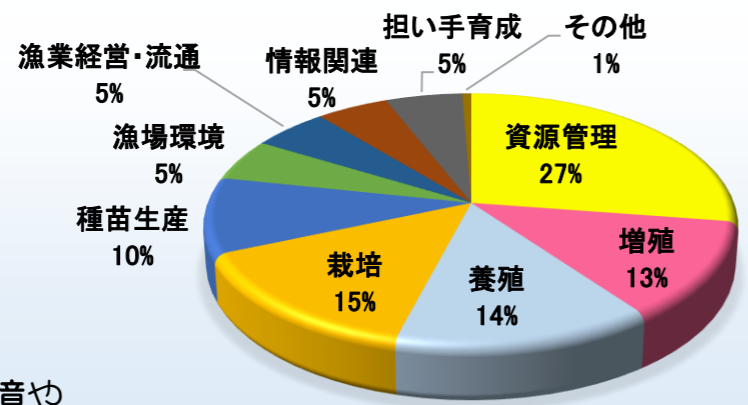
地域水産業の発展のため、漁業者と直接向き合いながら活動している「漁業現場に最も近い公務員です。」

■ 指導所の所在地



北海道では、沿岸を6海域に区分し沿海24カ所（本所・支所の合計）に水産技術普及指導所を配置しています。
 広い北海道では、海域によって漁業対象の魚種や課題が異なりますが、普及職員はそれらに対応し、地域に根ざした普及活動を行っています。
 ※郡部にも職場があり、概ね3～5年ごとに異動（転勤）があります。

■ 水産技術普及指導所の普及課題



資源管理、増養殖、漁場環境や担い手育成など様々な普及活動をしています。

令和7年度 普及課題（全道）



ホッキガイ資源管理

コンブ養殖

担い手育成

■ 先輩職員から・・・

令和5年度採用
 宗谷地区水産技術普及指導所枝幸支所
 普及指導員 西島 英祐



普及職員を目指した理由（きっかけ）
 大学で学んだ水産に関わり、生まれ育った北海道に貢献できるような仕事を探していました。学内の公務員説明会で、道庁に水産の仕事があることを知り、当初は行政職で入庁しました。様々な業務を経験させていただきましたが、水産現場の第一線で、浜のために一生懸命仕事に取り組む普及職員の姿を目にし、自身もそのような仕事をしたいと思いました。

業務内容
 ホタテガイに関する業務では、殻長や重量などを測定し、その時期の歩留まりや育成状況を把握する漁獲物調査や資源量調査を行っています。また、沿岸環境調査では、船に乗って、沖で水温などを測定する機器を海中に投下して、調査地点の海洋環境を調べています。測定データはグラフ化し、現在の状況を把握した上で、調査結果を地元の漁協や漁業者と情報共有しています。ナマコに関する業務では、操業日誌を解析して、その海域の操業状況や資源動向を把握しています。

〈経歴〉
 R3.4.1～
 胆振総合振興局
 R5.4.1～
 宗谷総合振興局
 宗谷地区水産技術普及指導所
 枝幸支所

普及職員を目指す方々へ
 普及職員は、浜が抱える課題を認識し、水産に携わる様々な人と協力しながら、課題解決に向け取り組む仕事です。全道各地で勤務しながら、現場に触れることで知見が広がっていきます。北海道の雄大な自然、美味しい食べ物との出会いも魅力です。このような仕事が少しでも気になった方、ぜひ私たちと一緒に働いてみませんか？

休日の過ごし方
 春は山菜を取りに山へ、冬は日帰りで行ける範囲でドライブがてら、近隣の温泉へ出かけたりしています。また、インドアに動画配信サービスを見て過ごすことも多いです。

令和4年度採用
 釧路地区水産技術普及指導所
 普及指導員 小林 和馬



普及員を目指した理由（きっかけ）
 出身が北海道で、大学で水産を学んだことから、北海道内で水産の仕事に就きたいと思っていました。普及職員を募集していることを知り、漁業者に直接働きかけることで北海道の水産業発展に貢献できるという点に大変魅力を感じました。

業務内容
 ホッカイエビの資源管理業務を担当しています。漁期前・後の調査支援や操業日誌を集計し、結果を基に、漁業者に対して操業等に関して助言しています。その他、カキやアサリの増養殖や、若手漁業者が取り組む活動への支援も行っています。

〈経歴〉
 R4.4.1～
 釧路総合振興局
 釧路地区水産技術普及指導所
 (所在地:厚岸町)

普及職員を目指す方々へ
 漁業者や関係機関からの要望を受けて、様々な調査に協力しますが、結果を基に、浜をより良くしていく方法を考えることが重要です。そして、漁業者等に受け入れてもらうためには、日頃からコミュニケーションを取り、信頼関係を築くことも重要です。それゆえ、提案が受け入れられたときには、とてもやりがいを感じます。公式インスタグラムで私たちの活動を紹介しているので、見てみてください。興味を持った方はぜひ、私たちと一緒に浜のために働きましょう！

休日の過ごし方
 海釣りが趣味なので、天気の良い日は海へ釣りに行っています。時には遠征や船釣りにも行き、釣ったことのない魚や、大物を狙って年中楽しんでます。